

2013年2月28日 島の政策研究科第3回 参加者アンケート結果

(参加47名中、33名回答)

	合計	比率	回答数
①年代・性別についてお尋ねします	33人中		
(1) 年代	33		
20代以下	4	12%	
30代	6	18%	
40代	4	12%	
50代	6	18%	
60代	12	36%	
70代以上	1	3%	
(2) 性別	33		
男性	27	82%	
女性	6	18%	
②本イベントをどのようにお知りになりましたか(複数回答可)	34		
チラシを見て	2	6%	
知人に聞いて	7	21%	
しまのがっこうメール・メーリングリスト	4	12%	
農都部会メール・メーリングリスト	3	9%	
他のメーリングリスト	3	9%	
しまのがっこうホームページ	2	6%	
農都部会ホームページ	1	3%	
他のホームページ	0	0%	
Facebook	6	18%	
Twitter	0	0%	
その他	6	18%	
③本イベントへの参加の目的は(複数回答可)	68		
屋久島を知りたい	9	13%	
屋久島へ旅行を検討	3	4%	
移住を検討	0	0%	
自然エネルギーについて知りたい	26	38%	
再エネの政策について知りたい	20	29%	
ビジネスを検討	2	3%	
その他	8	12%	
④屋久島が世界自然遺産登録20周年ということを知っていましたか	33		
知っていた	13	39%	
知らなかった	20	61%	
⑤夏頃予定の屋久島の現地視察と交流のツアーについて	34		
ぜひ参加したい	4	12%	
参加を検討したい	12	35%	
参加しない	5	15%	
どちらともいえない	13	38%	
⑥本日の全体評価を教えてください	32		
5	16	50%	
4	13	41%	
3	3	9%	

2	0	0%	
1	0	0%	
⑦屋久島の電力事情・離島の再エネの話について、感想をお聞かせください			23
歴史を知れてよかった。			
機能的に現地の特性を利用していると考え			
水力が主力のようですが、水力の維持管理、産業コストの問題が気になりました。			
屋久島にあった電力事業を人にも自然にも配慮した形で素晴らしいと思いました。			
これからの運営に問題はないだろうか？			
奄美や沖縄の離島の台風時の停電対策について(興味を惹かれた)			
初めての話題で視野が広がりました。			
(水力発電所を)ぜひ見学したい、そのために島に行きたい。			
屋久島の電力事情については知らなかったので面白かった。(現地視察ツアーは)日程があえば、今日参加して、屋久島に行きたくなりました。			
発送電分離(60年間)など、屋久島ならではのエネルギー活用事情を理解できた。			
発送電分離をもっと知りたい。			
再生とクリーンの重要性がよく認識できた。			
屋久島電工の役割などについても話して欲しかった。			
バイオマスの進展、良い話です。			
屋久島だから出来た取組			
とても興味深く聞きました。			
発送電分離が実現していることを知って大変興味を持ちました。			
屋久島の電力事情について自然環境を利用したものであるということがよくわかりました。DVDもわかりやすかったです。			
ランプ生活から必要に迫られて、電気の地産地消を成し遂げ産業も興した。このことは他の離島や日本本土内の畑の出来ない山間部の見本に成るのと思われる。			
屋久島の歴史的側面や自然環境などから、電力の自給の必然性がよくわかりました。			
屋久島の特殊事情、特に島のエネルギー自給の歴史を知ることが出来、離島の現状を改めて認識しました。			
電力自給と発送電分離の現状は、水力発電に適した離島という屋久島の特殊要因によるもので、その辺りが参加者にどこまで伝わったかと思います。			
⑧講演について、感じたこと、思ったことをお聞かせください			27
幅広い分野ですばらしかった。			
CO2ゼロは素晴らしい(ゼロエミッション)			
倉阪教授のお話しをもっとたくさんの人に聞いてもらいたい。			
バイオマスは木質関連の説明は不足。ゴミ焼却の中味と廃材でチップを作って発電とかワンパターンでなく考え方を広げて技術開発が必要か。自然エネルギーのコストパフォーマンスを下げる事が課題。			
倉阪先生のお話の中で、参考になった点が沢山ありました。			
大変参考になりました。(2名)			
国内外の再生エネルギー事例(失敗・成功を含め)を紹介してほしいと思いました。			
(やってほしいテーマは)導入上の課題・問題とその解決策			
とても良かったです。(やってほしいテーマは)島の地産地消(電気・食材など)			
エネルギー源ごとの、具体的な話が面白かったです。			
分かりやすかった。			
面白い切り口でした。			
再生エネルギーの動向について理解が進んだ。			
再生化エネルギーの多様性と可能性、再生エネルギーの活用を地域資本で可能、が理解できてよかった。			
すばらしい講演でした！			
倉阪先生のお話、勉強になりました。			
データが参考になる			

ありがとうございました。次の機会では各論についてお聞きしたいです。	
屋久島での具体的なお話に加え、エネルギー問題全体の包括的なお話を伺うことができました。参加者の方々の意見もお聞きでき、大変参考になりました。	
とても分かりやすく良かった。すべきやるべきが見えているのも良かった。	
全体的な自然エネルギーの状況がわかり勉強になりました。潜在的に自然エネルギーを増やせる可能性がどの県にもあることがわかり、希望がもてたと思います。	
倉阪先生始め多くの方々より講演をして頂き勉強に成りましたが、収録したビデオをもっと多くの方々に広く見てほしい。ユーチューブ等で配信したい。今後生物多様性部門として屋久島の海と山、千葉の海と谷津田の講演会はどうか。	
とてもよかったですと思います。今後、いろいろな島での自然エネルギー利用の現状をもっと知りたいと思います。	
地域のエネルギーは地域でまかなう、地産地消のエネルギーを是非実現したいと思います。そのために多少不便な生活や、生活のペースを見直し、スローなスタイルにしたいと考えます。自宅も近い将来太陽光パネルを設置したいと思います。	
短い講演時間にもかかわらず、自治体が太陽光発電のために土地・屋上等を外の企業に貸し出さずに地元でやる必要があるお話など、再エネの現状と可能性、方向性をわかりやすく伝えていただいたと思います。再エネは地域の取り組みが重要であり、自治体の役割が大きいこと、住民と行政の連携が必要なことを改めて認識しました。日本各地に水車が7800もあって地域のエネルギー源(揚水・製粉等の動力源)となっていた例などは、再エネ導入のヒントになると思いました。	
⑨グループディスカッションについて、お聞かせください	25
専門性が高くて心が燃えた。	
全体的に時間不足。(2名)	
原発事故以来、関心が高まっている。専門分野の進歩はさておいて、市民レベルの活動で自然エネルギーの普及につとめるべき。	
グループディスカッション、ミニライブともに全員参加型、横のつながりの調和型の会が素晴らしいと想いました。	
いろいろな考え方があり参考になりました	
なかなかディスカッションする機会がありませんでしたので、大変貴重な時間となりました。ありがとうございました。	
様々なところに所属してる人と意見交換でき、いい発見がありました。	
しゃべるの、苦手です。	
もう少し〇〇をしっかりと話をしたかった。	
短い時間でしたが、様々なバックグラウンドをお持ちの方のお話を聞いてよかったです。	
とても有意義だった。	
色々な知見を有する人達が集まっていたので、このパワーを結集することが有効かと思われた。	
ディスカッションのまとめを突然指名されて、びっくりでした。	
短い時間ながら前向きな発言がよかった。	
自然エネルギー、島つながりは楽しい！	
いろいろな方の話が聞いてよかった。	
時間が短い中でのディスカッションは少し無理があった。	
エネルギーリテラシー、、、教育の必要性、おもしろいだけでなく、、、〇〇的に	
ディスカッションの年齢構成が良く意義がある会であった	
大変関心の高い人が多く、びっくりしました。	
これだけ時間が短いなら、もっとテーマを絞って議論しても良かったかもしれません。	
みなさん楽しく発言されていたようでよかったです。	
様々な方がおられ討議内容がバラバラ様だが、まとめると「誰でも出来る事から始めよう」に落ち着いた。成功例や導入の話はなかった。	
短い時間ながら、よくまとまったと思います。話したりない方もいたようですが。	
私自身は担当スタッフということで直接グループディスカッションに参加しませんでした。発表を聞いて、それぞれが自然再生エネルギーを取り入れることに真剣に考えていることが分かりました。まずは出来ることから取り組むと言うことに共感しました。	

⑨-2 ミニライブについて、お聞かせください	14
きれいな声が心を燃やした。	
ミニライブは感動しました。	
とても良かったです。(2名)	
語りも良かったです。	
ライブも素敵でした。	
音楽とからませても楽しい！	
ライブ最高でした	
まだ行ったことのない屋久島が大変身近な存在に感じられました。暮らしと資源とエネルギーのテーマは続いています。是非、訪れたいと思います。	
素敵な雰囲気を即座に創り出されて、本当にすばらしかったです。GEOCが癒しの空間に変身しました。	
えぐささんの声の良さに改めて感動したが、音響環境がいまいちだったのは残念でした。	
DVDでの屋久島の風景をイメージして、目をつぶり、江草さんの朗読を聞き、とてもスピリチュアルな癒しを感じました。	
屋久島のことを改めて深く知ることが出来ました。	
神様の森の木々を伐採するきっかけ、ルールを作った泊如竹のお話を聞いて、自然と対峙しながら暮らす島人の畏れや気持ちを考えさせられました。神々の棲む島というイメージのある屋久島を彷彿とさせるすばらしい語りと唄でした。	
⑩地域や国のエネルギー政策をどう変えたら良いか、自治体や住民のあり方などについて	22
どれだけ住民が参加できる形を作れるかにかかっていると思う。	
協働(行政と住民の)を構築する。	
自治体は民間に運営を全面的にまかせて、収支だけを考えがちなのは問題。	
国、企業に勤める人はみな市民でもあって、一市民としては、みな、変革を望んでいる方が多いことに期待感がふくらみました。こういう会の広がりもとても大切だと想います。	
チャレンジしていくことが重要と思います	
エネルギーのコミュニティ自給	
少しずつ、自分から。	
原発に頼らないエネルギー政策。節電することによって、太陽光より太陽熱を使用した温水利用等、電力の消費が削減できる。住民の意識をChangeする啓蒙が必要。	
普通の人々が自然にかかわれるような制度が必要。	
様々な規制緩和を推進することが必要。	
とりかえすことのできない自然環境破壊の歴史を常に反省しながら再生化エネルギーへの取り組みをする。	
人材が必要！国際的な動きをふまえ、法律、政策がわかって変えていける若い人間を育成する必要があると思います。	
地域主導のエネルギー自給を各自治体が考え、国がそれを支援するような形にもっていきたい。	
エネルギーに関しての住民の勉強が必要。	
再生可能エネルギーは市民主体で広めていくものとは思いますが、いくつか法的問題が存在していることも事実です。そのバリアを超えるために自治体などの公的セクターの役割は大きいと思います。(例えば地域金融の際の信用保証をするなど)	
エネルギー、食料の各エリアの最適化について、まず研究する必要があると思いました。	
省エネを楽しくかっこいいものとして導入していく事が大切。	
自然エネルギー政策をもっと早く大きくすすめていくことが急務だと思いました、そのために住民の声をしっかり反映できるように住民参加のプロセスを作っていくことが必要と思いました。	
政治が交代しても地域でしっかり再生可能エネルギーの普及活動をしていく事により、日本のエネルギー事情は後世に素晴らしい資産を残す事になる。	
地域や国のエネルギー政策を変えるために、各地域でワークショップなどを開催して、住民参加のもとで、政策提言を重ねていく必要があると思います。	

原発再開の議論や経済優先のことが国民の関心事になっているが、今こそ日本の今後の進むべく方向性を真剣に考える時である。まずは市民(住民)が自立することが先決である。

省エネ・再エネで原発の代替になり得るということですが、再エネの普及を阻む諸制度を改め(規制改革)、地域にインセンティブを与える政策(再エネ優先法・地域再エネ法の制定等)を積極的に進めてほしいと思います。講演で、ドイツのエネルギー協同組合の話がありましたが、屋久島の地域配電の例とも共通する部分があり、地域にエネ組を設立しやすい制度や予算、税制を望みます。

⑪メーリングリストについて		28	
登録したい	13	46%	
登録済み	13	46%	
登録したいと思わない	2	7%	
⑫Facebookグループについて		25	
参加したい	10	40%	
参加済み	10	40%	
Facebookはやらない	5	20%	

※集計に当たり同じ内容の回答は一つにさせていただきました。判読不能の文字は「○」としてあります。